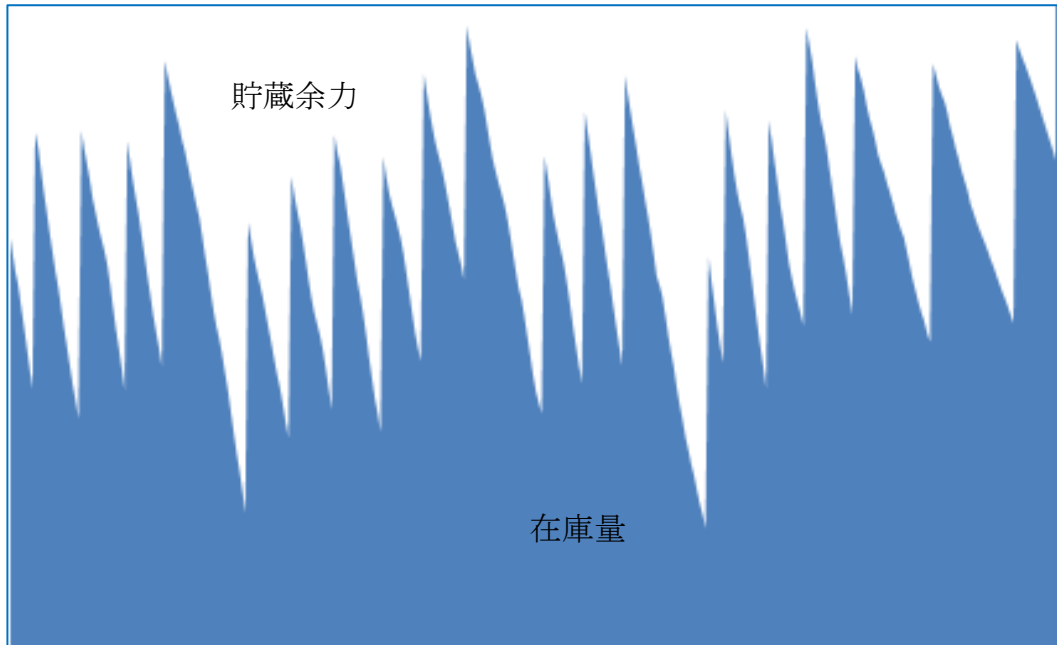


LNG 貯蔵余力の見通し (イメージ図)

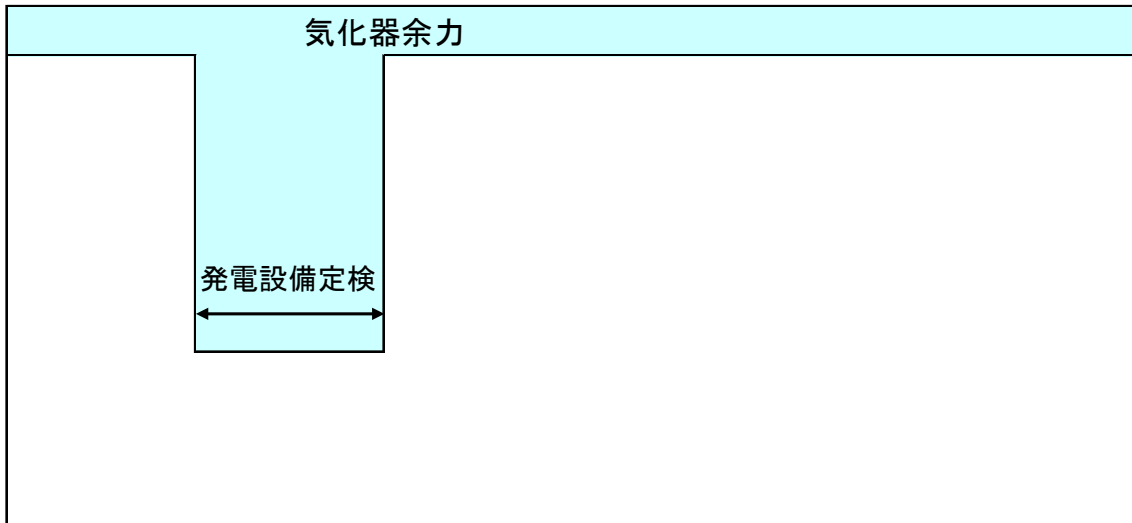
【LNG貯蔵容量：32万KL】



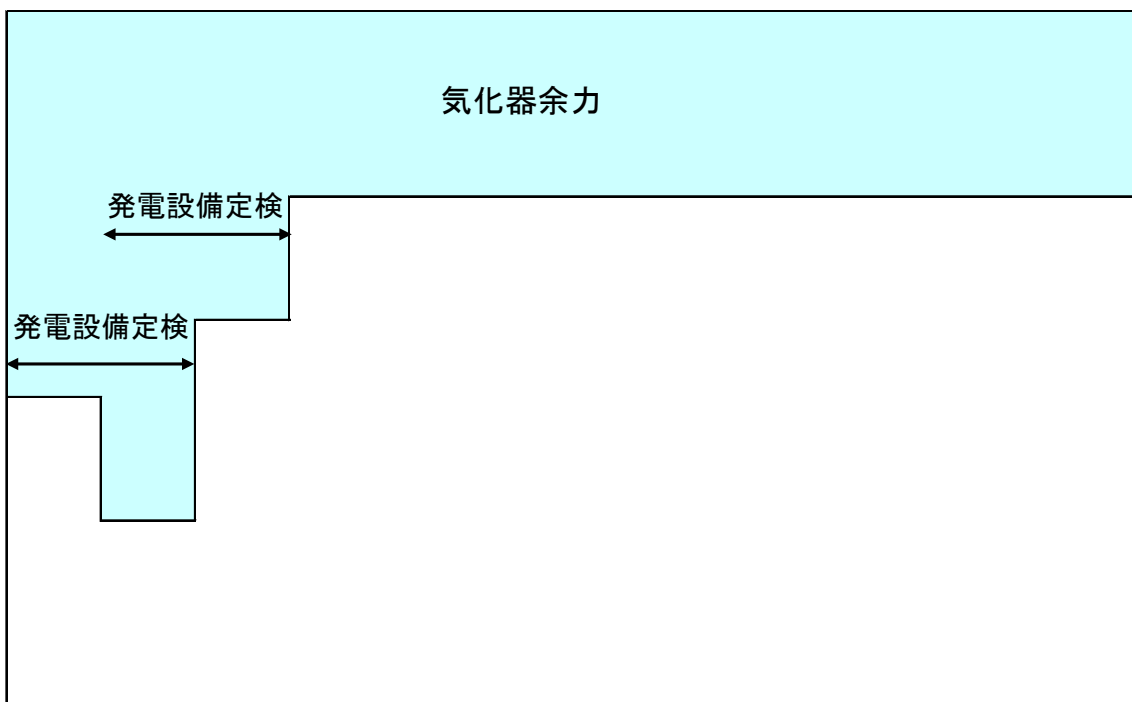
(注) 上図は当基地のLNG貯蔵のイメージを示すものです。当基地の傾向として、季節に関係なく、LNGの受入状況、電力(ガス)の需要動向、発電所等の設備工事等によってタンク内の在庫は大きく変動いたします。

ガスの製造余力の見通し（イメージ図）

【低圧気化器】



【高圧気化器】



(注) 上図は当社〔等〕のLNG気化余力の見通しを示すものです。実際の気化余力は、電力（ガス）の需要動向、発電所や気化設備等の定期点検工事・設備工事等によって大きく変動いたします。

利用可能な船舶の種類・船型，液化ガスの種類・品質

(1) 利用可能なLNG船の船型

船 型	総トン数	載貨重量トン	全 長 (m)	幅 (m)	最大喫水	最大積載 貨物数量
#モス型 155,999m ³	121,675	76,355	289.50	49.00	11.925	97,000
モス型 177,441m ³	*141,671	*87,257	*300.03	*52.00		
☆モス型 155,696m ³	136,740	75,837	288.00	48.94		
膜ブレン型 210,197m ³	*137,535	*122,052	315.00	50.00	13.621	
膜ブレン型 216,293m ³	136,410	107,169	*315.16	50.00		
#膜ブレン型 217,591m ³	135,848	107,169	315.06	50.00		

※総トン数は参考値。ただし，上記総トン数以下を配船する。

【凡例】

*：棧橋の最大値として採用する要目。型式ごとに最大値を定める。

☆：連続タンクカバー式。

#：LNG型式ごとの最大喫水を採用するもの。

(2) 利用可能と見込まれる液化ガスの種類・品質（性状）

組成	メタン	86.00 モル%以上
	ブタン以上	2.50 モル%以下
	ペンタン以上	0.25 "
	N ₂	1.50 "
発熱量	42.5～45.5 MJ/m ³ N	
その他	固形またはその他の不純物（H ₂ S、T-S等）及び異物を含まないこと。	

(注) 受け入れることができる LNG の性状は、個別の利用条件やタンク運用実態によって異なるため、上記の数値は目安とします。

配船計画の策定期期の見通し

当年度分の配船計画の策定期期は概ね以下の通りです。

- ・前年度 7 月頃 ・ ・ ・ LNG 売主との間で配船協議を開始
- ・前年度 10 月～3 月頃 ・ ・ ・ LNG 売主との間で年間配船計画を策定

(注) 上記はおおよその策定期期であり、具体的な配船計画策定期期は様々な LNG プロジェクトによって異なります。

参考：現行設備

LNG 船バース	貯蔵設備	気化設備
LNG 船バース 最大船型： 6号バース 122,052DWT 水深： 6号バース -16.00m	貯蔵設備 160千kl×2基 合計320千kl(147千t)	気化設備 105t/h×1.4MPa IFV 1基 75t/h×5.6MPa IFV 3基 75(105)t/h×5.6(1.4)MPa IFV 1基※ 75(105)t/h×5.6(1.4)MPa SEV 1基※ ※高低圧兼用